
2021ACTS レギュレーション

— 運営: 横松 和 (九州大学 B4) —

目次

-概要

-各章の特筆事項

- 参加について
- 放出方法
- CanSatのキャリアへの収納時間について
- 昨年度の部門について
- 表彰について

-最後に

概要

-今年度はARLISSの代替大会として実施するが、レギュレーションは昨年の2020ACTSのものをもとに一部改変している.

-記載内容

1. 団体参加資格
2. 全てのCanSatに対するレギュレーション
3. カムバック賞に対するレギュレーション
4. 飛行機能を有する機体に対するレギュレーション
5. 審査について
6. 競技当日における注意事項など
7. 表彰について
8. 大会報告書について
9. その他

目次

-概要

-各章の特筆事項

- 参加について
- 放出方法
- CanSatのキャリアへの収納時間について
- 昨年度の部門について
- 表彰について

-最後に

放出方法1/2

-昨年度はドローンからの投下を想定したレギュレーションとなっていたが、今年度はバルーンからの投下を行う

-周波数の調整

- 使用する周波数, 識別子などを提出
 - 他団体の無線機器との混線防止のため
 - 周波数調整をお願いする場合があります

参加について

-団体ごとに参加費の徴収を行う

- 金額については後日連絡

-各団体UNISEC所属の責任教員が必要である.

- 責任教員に審査書の相互レビューをしていただきます

放出方法2/2

-CanSatに搭載された無線通信機器の電源on/off

- キャリアへの収納～ドローンによる投下の間は電源をoff

- ドローンの操縦に干渉しないようにするため

- 2.4GHz帯に被らなければ電源onでも可



今年度はドローンではなく**バルーン**を使用するため、任意とする

CanSatのキャリアへの収納時間について

-競技前のキャリアへ収納する時間が5分以内であること

- 競技当日のスケジュールを遅らせないため
- 競技当日の投下までの流れ
 1. 投下直前の審査(サイズ, 重量, 自重で放出)
 - キャリアに収納して計測し, 自重で放出可能かを確認
 2. ドローンのキャリアへ収納

※ パラシュートなどを畳んで, キャリアへ収納するだけでOKの状態となるように投下直前の審査までに準備しておくこと

昨年度の部門について

- 今年度はビギナー、プロフェッショナルの部門分けは行わない
- 昨年度でいうプロフェッショナル部門のみの開催

表彰について1/2

-カムバック賞

- 自律制御によって、ゴールを目指す全団体の中から、最もゴールに近づけた団体を選出

-ミッション賞

- ミッションの有意性、実現性、独自性に基づき、各団体の相互評価によって、全団体から優秀な団体を選出

-テクニカルシステム賞

- システムの独創性、新規性、難易度に基づき、各団体の相互評価によって、全団体から優秀な団体を選出

表彰について2/2

-総合優勝

- システムの技術的新規性, その難易度を評価し1～3位を選定する.
なお, 評価は各団体, 運営, 各教員が1票ずつ投票し, 集計する.

-UNISEC賞

- UNISEC教員による協議の上で1団体を選定する.

目次

-概要

-各章の特筆事項

- 参加について
- 放出方法
- CanSatのキャリアへの収納時間について
- 昨年度の部門について
- 表彰について

-最後に

最後に

- レギュレーションに1度目を通しておくこと
- 現在のレギュレーションが変更される可能性あり
- 質問はメールでも受け付けます(2021acts@gmail.com)